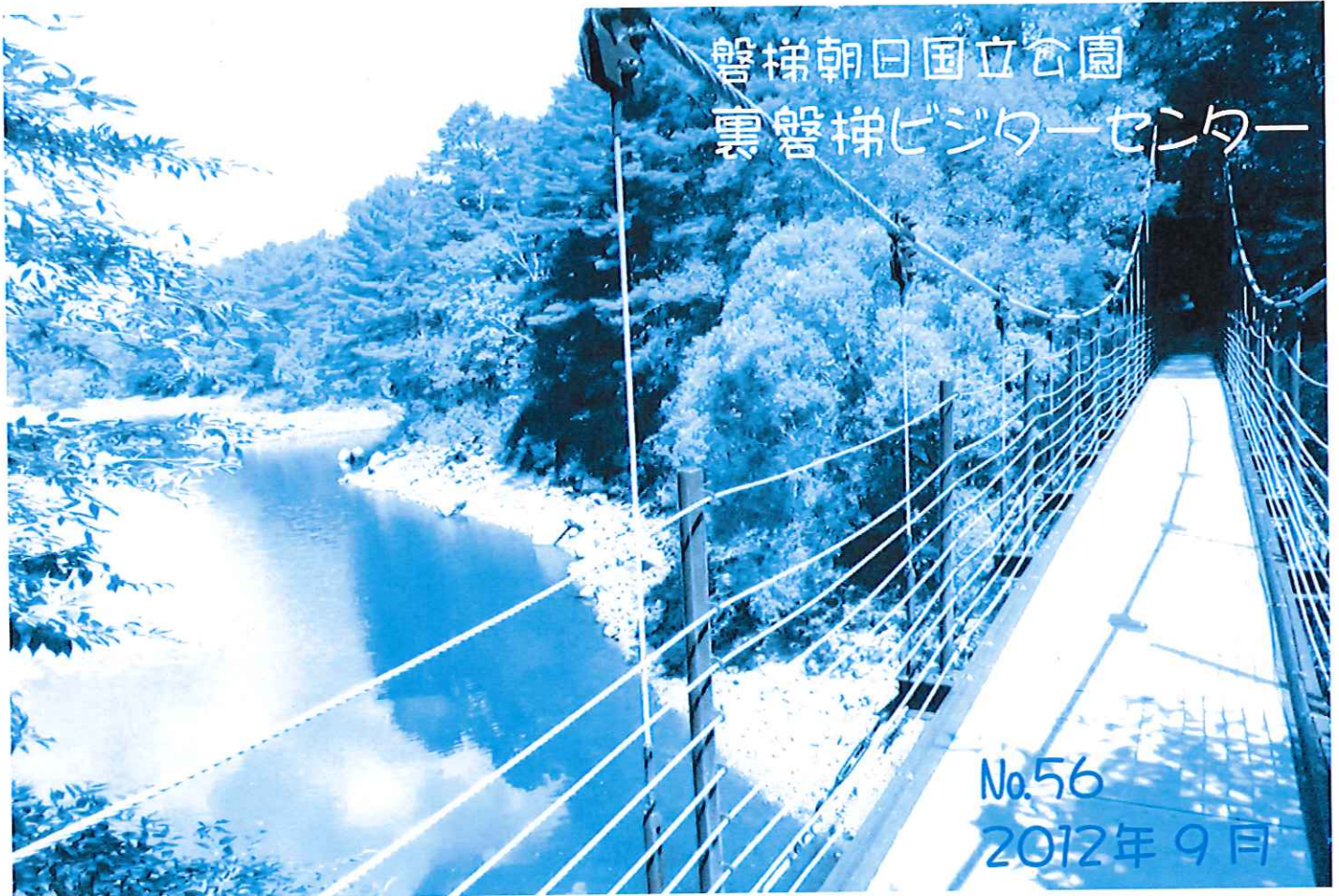


裏磐梯だよい



季節の一枚 ㊸

「桧原湖畔探勝路のつり橋」

今年は9月になっても暑い日が続く裏磐梯ですが、涼しい風が吹くようになりあちらこちらで秋を感じられるようになってきました。

この日は秋晴れの中、桧原湖畔探勝路に行ってきました。入り江や島など複雑な地形を見ながら湖畔沿いを歩く舗装されたコースで、途中には吊り橋があります。探勝路を歩いていると湖からの心地よい風や紅葉の始まったツタウルシやヤマウルシ、ヤマブドウなどの葉が秋の訪れを感じさせます。また、薄黄色に色づいた丸いカツラの落ち葉が甘い香りを漂わせていました。これから本格的な紅葉シーズンを迎える裏磐梯、赤や黄色のPATCHワークのような景色が見られるのがとても楽しみです。
(撮影日 2012年9月12日)

年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

裏磐梯にはツキノワグマが棲んでいます



日本に棲息する「クマ」は、北海道にのみ棲息するエゾヒグマと本州・四国に棲息するニホンツキノワグマの2種類です。ツキノワグマは人間や動物を積極的に襲う生き物ではなく、主な食べ物は若芽や木の実、アリやハチの子といった昆虫などです。性格はとても臆病で、クマが攻撃を仕掛けるのは自分の身を守る為の「防衛行動」であり、人が考える「攻撃」とは異なります。

しかし、近年、ツキノワグマと人間との事故が増えてきているように思えますが、なぜでしょうか？

昔と比べてクマを取り巻く環境の変化も原因の一つではないでしょうか。人の手による開発で木の実などがなくなるとクマは食べ物を求めて彷徨います。たどり着いた先は人間の生活圏でいつか鉢合わせしてしまう。その時驚いたクマが身を守る為に、人より圧倒的に強い力で「攻撃」をしてしまうのです。また、森の木の実の豊作・不作によってもクマの頭数と食糧のバランスが変わり、彼らの行動エリアが拡大するなどの影響が見られるとされています。

裏磐梯でここ数年クマと人との事故がない理由は、昔からクマと人と山が良い関係を保っているからです。その関係が崩れた時、どのような事が起こるのかわかりませんが、良い関係ならば保っていききたいものです。「ツキノワグマがいる森は、豊かな証拠」いつまでもそうであってほしいと思います。※九州地方のツキノワグマは絶滅が宣言されました



ばったり出くわすことがないように、クマよけの鈴を携帯しましょう

クマに会ってしまったら？

騒がない

走らない

近づかない



クマを刺激しないよう、立ち止まって様子を見て、静かに復すさいでその場を離れましょう

裏磐梯のはてな？

来館者のみなさんによく聞かれる「？」にお答えします

「夏、山の上にたくさんのトンボがいるのは何故？」



そのトンボはおそらく、赤とんぼの代表的な種であるアキアカネだと思われます。そもそも赤とんぼとは、日本にいるトンボのアカネ属の仲間、あるいはアカネ属を中心とした20数種の赤い色をしたトンボの総称です。そのうち、アキアカネは暑さが苦手なため、夏になると平地から涼しい高地へ移動します。それが、山の上に集まったかのように飛んでいたのだと思います。

「なるほど、アキアカネかあ。でも、赤くなかったような…」

もともとは黄色～橙色をしているのですが、秋に成熟すると赤くなります。赤くなるのは婚姻色といって、交尾・産卵のできる証拠です。そして、涼しくなった頃に平地へ下りて、交尾し、水辺に産卵します。

ひと口に赤とんぼといっても、一般的にメスはオスより赤みが弱く、また種類によっては全体が赤くなるものとお腹だけが赤くなるものもあります。それらは羽や胸の模様などが見分けのポイントになります。

この秋もたくさんの赤とんぼが黄金色の田んぼの上を舞う風物詩を楽しめたらいいですね。

磐梯山の山頂に何百匹も飛んでいたのですが・・・





「くるくるとまわりながら飛ぶタネを、探そう + 作ってみよう」



秋になり様々な植物がタネをつけていますが、皆さんの身近にはどんなタネがありますか？植物のタネは、フワフワと飛ぶタネ、くるくる飛ぶタネ、くつつくタネ、はじけて飛ぶタネ、動物や鳥に運ばれるタネなど上手に移動して芽を出せるように色々な工夫をしています。今回はその中で「くるくる飛ぶタネ」に注目してみたいと思います。

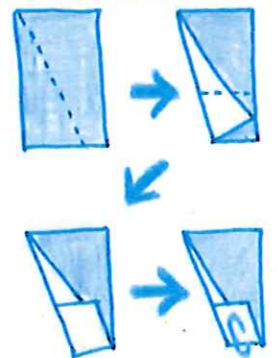
秋によく見られるくるくる飛ぶタネの代表は、カエデの仲間。翼のあるタネは、プロペラのようにくるくると回って落ちていきます。また、アカマツなどマツの仲間もくるくる飛ぶタネです。私は子どもの頃、マツボックリ自体がマツのタネだと思っていましたが、マツボックリのかさのすきまに小さなタネが入っているのです。ほとんどのタネはマツボックリが枝についているうちに飛んでいきますが、落ちているマツボックリをよく見ると中にタネが残っていることがあります。

裏磐梯での散策中や、家の近くで赤く色づいたカエデの木を見かけた時に、翼をもつタネを探して飛ばしてみましよう。タネの重さと翼の絶妙なバランス、自然のよくできた形に感心してしまいます。

☆☆☆模型を作って実験！バランスが悪いとストンと落ちてしまいます。上手く作るとくるくるまわる！ ↑

作ってみよう!

半分に切った折り紙とクリップで作れます



日本の国立公園

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます



国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 30 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園です。

じょうしんえつこうげん

「上信越高原国立公園」

昭和 24 年 9 月 7 日指定、陸域面積 188,046ha、長野県、群馬県、新潟県

妙高高原ビジターセンター金子輝美さんよりご紹介いただきます

上信越高原国立公園は、苗場山・志賀高原・白根山・浅間山などのエリアと、妙高山・戸隠山などのエリアの 2 つに分かれた、日本では 2 番目に面積の広い国立公園です。



妙高山

妙高高原ビジターセンターのあるこの妙高地域では、別名「越後富士」

とも呼ばれる『妙高山』がこの地域の核となる代表的な山です。外輪山が取り巻く均整のとれた山容は気品と量感とを感じさせる名峰、古くから山岳信仰の対象にもなってきました。妙高高原ビジターセンターの隣にある『いもり池』では妙高山の姿を最も美しく見ることのできるスポットとして、また周辺に広がる湿原にはミズバショウをはじめ春から秋まで沢山の花が途切れることなく次々と咲き乱れ、妙高を訪れる方が必ず立ち寄り人気の場所です。

そしてもう一つ、妙高地域で非常に重要な山が、妙高山のとなりにある『火打山』です。ゴツゴツした男性的な前述の妙高山に比べ、こちらはゆったりとした山腹の女性的な山容で、国の天然記念物「ライチョウ」の最北端・最小群の生息地となっています。雷鳥平とつけられた稜線や周囲のハイマツ帯ではしばしばその姿を見ることができます。また花の山としても



火打山

も名高く、高谷池や天狗の庭などの高層湿原を中心にハクサンコザクラやミヨウコウトリカブトなど高山植物の素晴らしい群落をみることができます。何度登っても飽きることのない懐の深さと登山者を魅了するおおらかさを持った火打山。その美しさは「天上の楽園」とも比喻されています。

妙高・火打、日本百名山にも数えられる二つの名峰を抱える妙高高原へ一度訪れてみませんか！

◆妙高高原ビジターセンターウェブサイト <http://www.myoko.tv/mvc/>

ようこそ！ビジターセンターへ

にぎやかでした！ 夏休みイベントプログラム開催

「よく見てみよう！ためてみよう！」

海の日～9月2日の夏休み期間中に、約24,000人の方が来館されました。今年は、館内外で毎日イベントプログラムを開催し、308人の方にご参加いただきました。空飛ぶタネを探して模型を作ったり、タンポポの花をルーペで観察したり、ビジターセンターのまわりをゆっくり歩きながら森のビンゴゲームをしたり。小さなお子さんや一緒に参加したお母さん、おじいちゃんにもそれぞれの新しい「へえ！」を持ち帰っていただけましたようです。自由研究お役立ちコーナーも好評でした。



裏磐梯ビジターセンターの見どころを紹介します

新しい展示物ができました！

「うらばんだい いきものみつけ」

館内展示室森の時間コーナーに巨大絵本が登場です。小さな子供の背丈ほどもある大きなページをめくると、裏磐梯に棲む「いきものさがし」の始まりです。裏磐梯に生息するたくさんのいきものを探すきっかけになればと思い制作しました。大人も楽しめる内容なので、来館の際は、ぜひ本を開いて探してみてください。



お知らせ

※ウェブサイトからも開催内容やイベントカレンダーをご覧ください

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催

「わくわく散歩」

当日
受付

五色沼湖沼群で一番大きな沼の毘沙門沼周辺を散策するミニガイドツアー。季節の動植物や磐梯山噴火の痕跡を観察しながら一緒に歩きませんか？
開催日：11月4日までの、土曜・日曜・祝日
開催時間：午前10:00～11:20／午後2:00～3:20
開催場所：毘沙門沼周辺
参加費：お一人500円(未就学児は無料)
定員：各回8名(先着順、定員になり次第〆切)
申込方法：当日、ビジターセンターにご来館の上、お申込下さい。

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催

「スライドトーク」

申込
不要

磐梯山の噴火や五色沼の色の秘密、裏磐梯の生きものを紹介します。スライドトークを聞いてから散策に出かけると、裏磐梯の自然をより楽しめます！
開催日：11月4日までの
土曜・日曜・祝日
開催時間：午後1:30～1:50
参加費：無料
開催場所：ビジターセンター
レクチャールーム



環境省 東北地方環境事務所 裏磐梯自然保護官事務所主催 全国・自然歩道を歩こう月間イベント

「吾妻川溪流・布滝の紅葉ハイキング」

事前
申込

開催日時：10月20日(土)午前10:00～午後3:00
参加費：お一人100円
定員：20名(先着順、定員になり次第〆切)
対象：小学生以上で、4時間程度のハイキングができる体力のある方(小学生は保護者同伴が必要)
お問合せ・お申込み ※詳細は、FAXまたはメールにてお問合せ下さい

パークボランティアの案内で、紅葉に彩られた吾妻川溪流や布滝を巡ります。

FAX：0241-32-3019 メール：urabandai-pv@yahoo.co.jp (担当:小林)

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

入館無料

開館時間

◆ 夏季(4月～11月) 午前9:00～午後5:00

◇ 冬季(12月～3月) 午前9:00～午後4:00

休館日 火曜日、年末年始(火曜祝日の場合は開館し、翌日休館)

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093

TEL 0241-32-2850 / FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>

ビジターセンターの窓から…「いきものめぐりスタンプラリー」終了まで残り約半年。金賞まであと4つ。集められるかな。(たか)／毎日、標高差250mくらいを自転車通勤。季節の移り変わりをよく感じる事が出来ます(わし)／歩いていると目につくヤマブドウの実…おいしそうだけど動物たちも食欲の秋！がまんがまん!!(ひろ)／日没が早くなり、6時過ぎには真っ暗。地球が毎日ちよとずつ動いている証拠(こん)